

昭和50年度 和歌山県文化功労賞

たか はし たい どう
高 橋 泰 堂 (号 藍川)

住 所：和歌山県西牟婁郡上富田町

出 身 地：和歌山県

生 年：明治39年

◎業績及び経歴

幼少の頃から父芸壺和尚に詩を学び、田辺中学時代は、国漢の先生にも指導を受けた。

昭和6年我が国唯一の漢詩月刊誌「漢詩春秋」に入会・投稿して腕をみがき、昭和15年「黒潮吟社」を設立し、月刊誌「黒潮集」を創刊した。

昭和17年漢詩春秋が廃刊となってからは唯一の漢詩月刊誌となり、数少ない漢詩作家として活躍されてきた。

黒潮集は物資不足時代の昭和19年末から数ヶ月休刊したが会員からの投稿、氏の添削評語は続き門下会員は全国的で、500人にもおよび指導を受けた人は数千人に達している。

著書に、「漢詩講座」「藍川百絶」「藍川百律」等がある。また地元では「邀月詩会」の作詩指導をされるなど、日本漢詩壇の第一線で活躍されその発展の原動力となっている。